

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護理論	NSP22_002	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
平尾 眞智子	401	m.hirao	月曜日～金曜日 12:10-13:00		
授業の目的・概要	看護理論は看護実践を合目的、科学的に行なうための根拠となる学問である。本授業では、ナイチンゲール・ヘンダーソン・オレム・ロイなどの看護理論の基礎を理解し、看護理論の実践的活用を目的とする。オンラインによる同時双方向授業を通してこれらを理解しフィードバック等により、さらに理解を深める。				
学習上の助言	ナイチンゲール、ヘンダーソン、オレム、ロイなどの看護理論の主要な要素である、人間・環境・健康・看護（看護診断、看護計画、看護実践、看護評価からなる看護過程）の概念とこれらの看護理論の実践的活用の基礎を修得する。				
教科書	看護理論－看護理論 21 の理解と実践への応用（改定第 3 版）/編：筒井真優美/南江堂/2019				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイチンゲール著作集（全 3 巻）/著：F ナイチンゲール/現代社 ・ヘンダーソン看護論と実践への応用/編：金子道子/照林社 ・オレム看護論－看護実践における基本概念（第 4 版）/著：ドロセア・E.オレム/医学書院 ・ザ・ロイ適応モデル（第 2 版）/著：シスター・カリスト・ロイ/医学書院 				
学生が達成すべき行動目標					
①	看護理論の概念と看護理論を構成する要素について説明できる	NS(2)～(4)			
②	ナイチンゲール看護論の目的論・対象論・方法論について説明できる	NS(2)～(4)			
③	ヘンダーソン看護論の目的論・対象論・方法論について説明できる	NS(2)～(4)			
④	オレム看護論の目的論・対象論・方法論について説明できる	NS(2)～(4)			
⑤	ロイ看護論の目的論・対象論・方法論について説明できる	NS(2)～(4)			
⑥	その他の看護理論の概要を知ることができる	NS(1)、(2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	看護理論の概念、看護理論の構成要素	同時双方向型授業	予習：看護学概論で学習した内容を確認しておく 復習：教科書の「理論」を復習	4	
2	ナイチンゲール看護論の概要（1）	同時双方向型授業	予習：テキストのナイチンゲールを読んでおく 復習：ナイチンゲールを復習	4	
3	ナイチンゲール看護論の概要（2）	同時双方向型授業	予習：ナイチンゲールの「看護覚え書き」を読んでおく 復習：配布資料を復習する	4	
4	ナイチンゲール看護論のまとめと他の著作	同時双方向型授業	予習：ナイチンゲールの他の著作を調べておく 復習：配布資料を復習する	4	
5	ヘンダーソン看護論の概要	同時双方向型授業	予習：ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を読む 復習：配布資料を復習する	4	
6	ヘンダーソン看護論の概要の実践への応用 ヘンダーソン看護論のまとめ	同時双方向型授業	予習：前回の配布事例を読んでおく 復習：配布資料を復習する	4	
7	オレム看護論の概要	同時双方向型授業	予習：テキストのオレムを読んでおく 復習：配布資料を復習する	4	
8	オレム看護論の実践への応用、オレム看護論のまとめ	同時双方向型授業	予習：オレムの配布資料を読んでおく 復習：配布事例を復習する	4	
9	ロイ看護論の概要(1)	同時双方向型授業	予習：テキストのロイを読んでおく 復習：配布資料を復習する	4	
10	ロイ看護論の概要(2)	同時双方向型授業	予習：前回の配布資料を読む 復習：授業時の配布資料を復習する	4	
11	ロイ看護論の実践への応用 ロイ看護論のまとめ	同時双方向型授業	予習：配布事例を読んでおく 復習：配布事例を復習する	4	
12	トラベルビーの看護論、ベナーの看護論	同時双方向型授業	予習：テキストの「トラベルビー」を読んでおく 復習：配布資料を復習する	4	
13	キューブラー・ロスのターミナルケアに関する理論 死に行く人々のケア、平和な死へのケア	同時双方向型授業	予習：援助方法論Ⅱの「死の看取り」を読んでおく 復習：配布資料を復習する	4	
14	看取りの看護、死後のケア	同時双方向型授業	予習：援助方法論Ⅱの「死の看取り」をまとめる 復習：配布資料を復習する	4	

[専門教育科目/看護の基本]

15	看護理論の活用に関するまとめ その他の看護理論の特徴	同時双方向型 授業	予習：看護理論テキスト、授業資料 を読んでおく 復習：配布資料を復習する	6			
試	定期試験 評価のポイント						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	100
総合力 指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する			解説を行い、知識を確実にする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	開講の半ばにレポート課題を提示し、終講日を提出日とする			レポート内容を点検し、評価し、コメントを付記して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>教員の実務経験：看護師、保健師として 4 年の実務経験、看護教員として 30 数年の教育・研究経験をもとに看護理論の意義、ナイチンゲール、ヘンダーソン、オレム、ロイなどの主要な看護論の概要を講義し、看護実践への活用のしかたについて、事例を交えて具体的に授業を進めます。</p> <p>授業中の私語は禁止。 Teams を使った同時双方向型授業を 15 回行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p>							